

使用上の注意点

Microsoft[®] Windows[®] 版 SAS[®] 9.1.3

インストールを行う前に、必ずお読みください。

『使用上の注意点』には、SASソフトウェアをインストールまたは使用する前に知っておく必要のある問題が記載されています。また、問題の修正方法や解決方法についても記載されています。

『使用上の注意点』は、SASソフトウェアのさまざまな側面に関して書かれていますが、同様の内容がほかのドキュメントにも記載されている場合があります。しかし、インストールと一般のシステム上の問題は、このドキュメントに含まれている内容がすべてです。

最新版の『使用上の注意点 (Alert Notes)』は、次の Web サイトから入手できます。この Web サイトから入手できるドキュメントは英語版となります。

http://support.sas.com/techsup/search/alert_search.html

最新の日本語版のドキュメントは、日本語インストールセンター (<http://www.sas.com/japan/service/documentation/installcenter>) を参照してください。

SASソフトウェアに関する今後作成される『使用上の注意点 (Alert Notes)』の情報を迅速に入手するには、貴社のサイト担当者がTSNEWS-Lを購読する必要があります。購読するには、電子メールの本文に「SUBSCRIBE TSNEWS-L」と入力し、LISTSERV@VM.SAS.COMに送信してください。

<http://support.sas.com/techsup/news/tsnews.html>

使用上の注意点やTSNEWS-Lメーリングリストに記載されていない内容についてサポートが必要な場合は、SASインストール担当者やSASサポートコンサルタントを通してSASテクニカルサポートにご連絡ください。

目次

SAS Software Depot	1
既存 SAS ソフトウェアデポへの Service Pack メディアの追加禁止.....	1
SAS Software Navigator.....	1
アジア言語のマシン上で SAS Software Navigator を起動すると文字の代わりにブロックが表示される	1
サーバー層 (Server Media 使用)	2
ブランチインストールを実行する場合、インストール開始前に SAS ソフトウェアデポを作成する	2
Windows 上で SAS 9.1.3 Service Pack 4 をダウンロードしたとき、「The current date is past the final expiration date」と表示される.....	3
SAS 9.1.3 Foundation のインストール後、SAS Installation Qualification Tool が失敗する (SAS Enterprise Guide 3.0.2 DVD と SP4 を NLS および SAS/OR を選択してインストールした場合)	4
Error: SETINSTALLFLAG: Error setting install flag to CLIENT_SERVER in file sas9.id	5
Java Runtime Environment for SAS が、Service Pack 4 を含む Microsoft Windows 版 SAS 9.1.3 Foundation をインストールしている際に、SAS Software Navigator を起動する.....	6
!Kernel.exe - Application Error. The instruction at "0x4fef10a2" referenced memory at "0x00168ac0". The memory could not be "read"	7
はじめにインストールしたときと異なるユーザーID を使用すると、「Error: Change User ID. SAS Service Pack Installer could not locate a SAS 9.1.3 installation.」と表示される	9
SAS 9 および SAS 9 Service Pack をターミナルサーバーにインストールする場合の必要条件	10
ネットワーク上の Enterprise Reporter のディレクトリへの書き込み権限がない場合、管理/クライアントインストールにおいて、進捗状況が 82% のところで停止する	10
SAS エクスプローラまたは Windows のエクスプローラで SAS データセットをダブルクリックすると、「Error: Could not open the specified registry key」と表示される	11
表示しているダイアログが使用できなくなる	12
日本語入力モードを使用した SAS Java のインストールにおいて、アンダーバーが縦棒 (パイプ記号) で置き換えられる	12
Windows XP 環境で、CD を挿入すると Autorun ウィンドウが表示される.....	12
ミドル層 (Mid Tier Media 使用)	13
ブランチインストールを実行する場合、インストール開始前に SAS ソフトウェアデポを作成する	13
はじめにインストールしたときと異なるユーザーID を使用すると、「Error: Change User ID. SAS Service Pack Installer could not locate a SAS 9.1.3 installation.」と表示される	14
SAS 9 および SAS 9 Service Pack をターミナルサーバーにインストールする場合の必要条件	15
表示しているダイアログが使用できなくなる	15
日本語入力モードを使用した SAS Java のインストールにおいて、アンダーバーが縦棒 (パイプ記号) で置き換えられる	16

クライアント層 (Client Media 使用)	16
プランインストールを実行する場合、インストール開始前に SAS ソフトウェアデポの作成を推奨する	16
はじめにインストールしたときと異なるユーザーID を使用すると、「Error: Change User ID. SAS Service Pack Installer could not locate a SAS 9.1.3 installation.」と表示される	17
SAS 9 および SAS 9 Service Pack をターミナルサーバーにインストールする場合の必要条件	17
表示しているダイアログが使用できなくなる	18
日本語入力モードを使用した SAS Java のインストールにおいて、アンダーバーが縦棒 (パイプ記号) で置き換えられる	18

SAS Software Depot

既存 SAS ソフトウェアデポへの Service Pack メディアの追加禁止

既存のSASソフトウェアデポに対して、SAS Service Packのメディアを追加しないようにしてください。

CDから直接Service Packをインストールするか、または選択した場所にCDをコピーしてそこからService Packをインストールしてください。

新たに既存のSASソフトウェアデポからインストールする場合、最初にそのSASソフトウェアデポからインストールを行い、それから『SAS 9.1.3 Service Packインストール手順』に記載されている手順に従って、Service Packを適用してください。

インストールの詳細については、次のWebサイトにある『SAS 9.1.3 Service Packインストール手順 (Installation Instructions – SAS 9.1.3 Service Pack)』の「Service Packの適用」を参照してください。

[米国]

http://support.sas.com/documentation/installcenter/the_sas_system/9.1.3_TS1M3/servicepack_install.pdf

[日本]

http://www.sas.com/japan/service/documentation/installcenter/the_sas_system/9.1.3_TS1M3/servicepack_install.pdf

SAS Note SN-014839に、この問題が記載されています。

SAS Software Navigator

アジア言語のマシン上で SAS Software Navigator を起動すると文字の代わりにブロックが表示される

言語と地域の設定が、日本語、韓国語、中国語のいずれかに設定されているマシン上でSAS 9.1.3 Software Navigatorを起動すると、SSNの右側のウィンドウに文字の代わりにブロックが表示されます。

インストール手順のセクションは英語のためコンテンツを読むことが可能ですが、バンドルされたパッケージ概要の情報は、ブロックとして表示されるため読むことができません。

この問題は、インデックスモードでインストールする場合で、かつ、ソフトウェアバンドルの概要ページでのみ起こります。

この問題は、SASのインストール、プロダクト自体、もしくはSAS Software Navigatorの機能に影響を与えるものではないため、インストーラを使用するか、以下の2つの代替手段のうち1つを使用することを選択できます。

- プランもしくはアドバンスモードでインストールする

- インストーラの言語として英語を選択することにより、SAS Software Navigatorのすべてのコンテンツを英語で表示する

注意：この手順は、インデックスモードでインストールする時のみ必要です。

これは、SASの今後のバージョンで修正されます。

SAS Note SN-017456に、この問題が記載されています。

サーバー層 (Server Media 使用)

プランインストールを実行する場合、インストール開始前に SAS ソフトウェアデポを作成する

SASでは、プランインストールの開始前に、SASソフトウェアデポ (SSD) を作成することを強く推奨しています。そうすることで、インストールの流れをより簡単なものとし、インストールにかかる時間も短くすることができます。

SSDを作成するには、以下を実行します。

1. [801 Deployment Tools Media] SectionにあるSAS Software Navigator CDを挿入します。
2. SAS Software Navigatorで使用する言語 (例えばEnglishなど) を選択し、[OK]をクリックします。
3. [SASソフトウェアデポの作成]を選択し、[次へ]をクリックします。
4. SSDのターゲットロケーション (たとえば、F:¥SAS913SP4) を指定し、[次へ]をクリックします。
5. ソースロケーション (たとえば、D:¥) を指定してSSDにソフトウェアを追加し、[追加]をクリックします。
6. SASソフトウェアデポへのソフトウェアの追加が完了したら、[完了]をクリックします。

場合によっては、SSDからインストールしないと、混乱を招きインストールの失敗に通じる余分な画面が表示されることがあります。

また、CDやDVDからのインストールで失敗した例がいくつか報告されています。たとえば、Enterprise Guideは、実際は完了していないのにインストールが完了したことを示すチェックマークを製品名の隣に表示することがあります。

以下のプロダクトは、InstallShield11 (インストール失敗の原因となっている) を使用するように変更しています。

- SAS Add-in for Microsoft Office 2.1
- SAS Enterprise Guide 4.1
- SES Office Integration 1.2
- Web OLAP Viewer for .NET 1.3

これは、SASの将来のリリースで修正されます。

SAS Note SN-017817に、この問題が記載されています。

Windows 上で SAS 9.1.3 Service Pack 4 をダウンロードしたとき、「The current date is past the final expiration date」と表示される

Renew SAS Software Toolは、SASライセンスデータを適用するための既存のサポートされている方法です。

SASライセンスが別の方法で更新されると、今後のSASのインストール/更新が正しく完了しないという恐れがあります。

よく知られている例として、SAS Service Packが適用された後、次のようなエラーメッセージがSAS起動時に表示されることがあります。

```
The current date is past the final expiration date.
```

SAS Service Packのインストール手順は、!sasroot¥core¥sasinstにあるsetinit.sssファイルに依存します。このファイルには、現在のライセンス情報が含まれています。「Renew SAS Software Tool」を使ってSASインストールデータファイルを適用することにより、ライセンスファイルを正しく更新することができます。そのほかの手段でSASソフトウェアを更新した場合は、正しいファイルが更新されません。

ライセンス情報を更新する必要がある場合は、以下の手順を実行してください。

1. [スタート] – [SAS] – [SAS 9.1 Utilities] –[SASソフトウェア更新]を選択し、SASインストールデータ (SID) ファイルを指定します。

注意： [スタート] – [プログラム] メニューに [SAS ソフトウェアの更新] がない場合は、!sasroot¥core¥sasinst¥sasrenew ディレクトリに移動し、sasrenew.exe を実行します。たとえば、

```
C:¥Program Files¥SAS¥SAS 9.1¥core¥sasinst¥sasrenew¥sasrenew.exe
```

2. SASを起動

Renew SAS Software Toolには、Quietモードで実行するオプションがあり、これによりダイアログボックスを見ることなくこのツールを実行することができます。このオプションで実行するには、!sasroot¥core¥sasinst¥sasrenewへ移動し、以下のコマンドをコマンドプロンプトから実行します。

```
"!sasroot¥core¥sasinst¥sasrenew¥sasrenew.exe" -s "datafile:<SASインストールデータファイルへのフルパス名>"
```

たとえば、次のようになります。

```
"C:¥Program Files¥SAS¥SAS 9.1¥core¥sasinst¥sasrenew¥sasrenew.exe"
-s "datafile:c:¥Program Files¥SAS¥SAS 9.1¥core¥sasinst¥sid.txt"
```

SIDが正常に適用されたか確認するには、C:¥Program Files¥SAS¥SAS 9.1¥setinit.logを参照します。

この情報は、以下の場所にある『Microsoft Windows版SAS 9.1.3 Foundation管理者ガイド』により詳細に記載されています。

[米国]

http://support.sas.com/documentation/installcenter/the_sas_system/9.1.3_TS1M3/win/win/admin.pdf

[日本]

http://www.sas.com/japan/service/documentation/installcenter/the_sas_system/9.1.3_TS1M3/win/win/admin.pdf

さらに問題がある場合は、SASテクニカルサポートまでご連絡ください。

SAS Note SN-017635に、この問題が記載されています。

SAS 9.1.3 Foundation のインストール後、SAS Installation Qualification Tool が失敗する (SAS Enterprise Guide 3.0.2 DVD と SP4 を NLS および SAS/OR を選択してインストールした場合)

SAS 9.1.3 Foundation (SAS Enterprise Guide 3.0.2およびService Pack 4 DVD) をインストールし、SAS Installation Qualification Tool (SAIQ) を実行すると、sasiq.htmファイルに以下が失敗したと表示されます。

全てのNLSサポートファイル :

- Chinese (Simplified) NLS Support (nls_zh)
- Korean NLS Support (nls_ko)
- German NLS Support (nls_de)
- Italian NLS Support (nls_it)
- Japanese NLS Support (nls_ja)
- Czech NLS Support (nls_cs)
- French NLS Support (nls_fr)
- Hungarian NLS Support (nls_hu)
- Polish NLS Support (nls_pl)
- Russian NLS Support (nls_ru)
- Spanish NLS Support (nls_es)
- Swedish NLS Support (nls_sv)

以下のSAS/ORのためのNLSサポートファイル :

- DE NLS Support for SAS/OR(db_nls_de_or)
- IT NLS Support for SAS/OR(db_nls_it_or)
- KO NLS Support for SAS/OR(db_nls_ko_or)
- ZH NLS Support for SAS/OR(db_nls_zh_or)

以下のSAS/Geneticファイル :

- SAS/Genetics (db_nls_cs_genetics)
- SAS/Genetics (db_nls_de_genetics)
- SAS/Genetics (db_nls_es_genetics)
- SAS/Genetics (db_nls_fr_genetics)
- SAS/Genetics (db_nls_hu_genetics)
- SAS/Genetics (db_nls_it_genetics)

- SAS/Genetics (db_nls_pl_genetics)
- SAS/Genetics (db_nls_ru_genetics)
- SAS/Genetics (db_nls_sv_genetics)

注意 : SAS/Genetics の失敗は、各国言語サポートの古いファイルによるものです。

この失敗は、SASのインストールもしくは動作の問題を示すものではありませんが、ファイルの重複に関する問題を示したものです。

これが実行しているDVDか確認するには、CDセット51のDVDの前面を調べてください。

この問題は、今後のリリースで解決されます。

SN-017393に、この問題が記載されています。

Error: SETINSTALLFLAG: Error setting install flag to CLIENT_SERVER in file sas9.id

SAS 9.1.3 Service Pack 4 for SAS FoundationをCDからインストールする際、次のようなエラーがクライアント/サーバーイメージにあるsawsetup.logファイルに出力されることがあります。

```
Error -2147024894 occurred while installing SAS Installation Data
to server at <client server directory>sas\core\sasinst\sid.txt
```

```
SETINSTALLFLAG: Error setting install flag to CLIENT_SERVER in file
<client server directory>\SAS\sas9.id
```

次のようなポップアップウィンドウが、SAS 9.1.3 Service Pack 4更新中に表示されることがあります。

```
SAS Message Log:
Unable to open/read message file using the -MSG paths
```

このメッセージは、sas9.idファイルが読み取り専用設定されているために表示されます。

以下の手順を実行し、クライアント/サーバーイメージからのクライアントインストールを完了します。

1. 読み取り専用の属性をsas9.idから削除します。

Windows XPの場合 :

- A. サーバー上のクライアントサーバーディレクトリへ移動します。
- B. ルートフォルダ上で右クリックし、[プロパティ] を選択します。
- C. 読み取り専用の属性の選択を解除し、[適用] を選択します。「属性変更の確認」ダイアログボックスが表示されます。
- D. 「このフォルダ、およびサブフォルダとファイルに変更を適用する」を選択し、[OK] をクリックします。また、プロパティダイアログボックス上の [OK] もクリックします。

Windows2000など他のオペレーティングシステムの場合：

- A. [スタート] > [ファイル名を指定して実行] をクリックし、cmdと入力して、[OK] を選択します。
 - B. cdコマンドを使用して、クライアント/サーバーイメージディレクトリに移動します。（例えば、cd d:\AdminClientImageのように）
 - C. 次のコマンドを実行します。

```
attrib /S -r *.*
```
2. <SERVER_FOLDER>\9.1\sas（このSERVER_FOLDERとは、クライアント/サーバーイメージをインストールした場所です）にあるsas9.idファイルに以下のテキストを追加します。


```
[SASServer]
Type=CLIENT_SERVER
```
 3. アップデートされたクライアント/サーバーイメージから、SASクライアントのインストールを実行します。

SAS Note SN-017378に、この問題が記載されています。

Java Runtime Environment for SAS が、Service Pack 4 を含む Microsoft Windows 版 SAS 9.1.3 Foundation をインストールしている際に、SAS Software Navigator を起動する

Service Pack 4を含むMicrosoft Windows版SAS 9.1.3 FoundationをSASセットアップCDからインストールする際、Java Runtime Environment for SAS – Volume 1 CDのプロンプトが表示され、そのCDを挿入後にSAS Software Navigator（SSN）が前面に表示されることがあります。これは、「Java Runtime Environment for SAS – Volume 1」というラベルが付いたディスクの挿入を求める、はじめのウィンドウをバックグラウンドに残します。

次のポップアップウィンドウがインストール中に表示されます。

1. Recommended Version of Java Not Found.
You may either install a JRE from the Java Runtime Environment for SAS CD, or specify the location of a JRE you have already installed. Make a selection and click Next to continue.
 - Install the recommended JRE
 - Specify a JRE
「Install the recommended JRE」を選択します。
2. Setup Needs the Next Disk. Please insert the disk labeled:
Java Runtime Environment for SAS - Volume 1
Click "OK."

この時点では、[OK] をクリックすることはできません。

「Java Runtime Environment for SAS – Volume 1」CDは、SASインストールキットの「800 SAS Foundation Media」もしくは、SAS Software Depot（SSD）を持っている場合は、「thirdparty3cd」ディレクトリにあります。

3. インストーラ (Installer)

Welcome to the InstallShield Wizard for SAS Private JRE (J2SE(tm)
Java Runtime Environment 1.4.2_09)

[次へ] をクリックし、さらに [次へ] と [終了] をクリックします。

4. これにより、元のポップアップウィンドウに戻ります。

Setup Needs the Next Disk. Please insert the disk labeled:
Java Runtime Environment for SAS - Volume 1
Click "OK."

手順4で「OK」をクリックしたら、インストールは期待通りに続きます。

この動作を確認するには、以下を実行します。

1. 「Recommended Version of Java Not Found」ウィンドウで、[Install the recommended JRE] を選択します。
2. プロンプトが表示されたら、「Java Runtime environment for SAS – Volume 1」というラベルのディスクを挿入します。
3. SAS Software NavigatorがSAS Private JRE (J2SE (tm) Java Runtime Environment) 1.4.2_09のインストールを起動したら、上部右角にあるXをクリックして、このインストールを終了してください。
4. このインストールを続けるには、「Please insert the disk labeled: Java Runtime Environment for SAS – Volume 1」ウィンドウで [OK] をクリックします。

これは、SASの将来のリリースで修正されます。

SAS Note SN-017155に、この問題が記載されています。

!Kernel.exe - Application Error. The instruction at "0x4fef10a2" referenced memory at "0x00168ac0". The memory could not be "read"

SAS FoundationをMicrosoft Windows XP (WinXP) Service Pack 1 (SP1) 上にインストールする場合、以下のようなエラーメッセージが表示されることがあります。

```
!Kernel.exe - Application Error
The instruction at "0x4fef10a2" referenced memory at "0x00168ac0".
The memory could not be "read".
Click on OK to terminate the program
OK
```

いくつかこのエラーメッセージの原因として考えられることがあります。それについてより詳細に知るには、InstallShield、MicrosoftおよびMacrovisionからの以下の情報を参照してください。

- InstallShield KB の記事、「ERRDOC: !kernel Application Error Instruction」：
<http://support.installshield.com/kb/view.asp?articleid=Q108020>
- Microsoft KB の記事、「Flaw in Windows WM_TIMER Message Handling Could Enable Privilege Elevation」：
<http://support.microsoft.com/?kbid=328310>

- Macrovision テクニカルサポート記事、「Problems with InterVideo DVD Software After Upgrading to Windows XP Service Pack 1」：
<http://support.microsoft.com/?kbid=329623>

WinXPをSP1なしで実行している場合は、以下のいずれかの方法に従って、この問題を修正します。

- Microsoft Windows XP Professional Service Pack 2 をインストールします。 より詳細な情報は、下記のリンクから参照してください。
<http://www.microsoft.com/windowsxp/sp2/preinstall.msp>
- Microsoft Support Files Q329623 を次の場所からインストールします。
<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=9cf87cda-c7f3-41a2-8ea3-cc4f03ff0e31&DisplayLang=ja>
- 一時的な修正として、インストールの間にエラーメッセージ上の [OK] をクリックし、インストールを続けます。

WinXP SP1以外を実行している場合は、以下の方法を試してみてください。

1. 新しいインストールを実行する前に、PCを再起動します。
2. 管理者（adminグループのメンバーというだけでなく）としてログインしているか確認します。
3. ウィルス対策ソフトウェアが無効もしくは終了しているかを確認します。
4. Internet Explorerを確認し、サービスパックが更新されているか確認します。
5. その他全てのアプリケーションが終了しているか確認します（インスタントメッセージングプログラム、アンチスパイウェア、アンチアドウェアを含む）
6. SASをインストールする前に、全てのSASプロセスとサービスを終了するのを忘れないでください。
7. まだ問題がある場合は、他のコンピュータへのインストールを試してみてください。 そのインストールが成功したら、使用しているコンピュータに問題がある可能性があります。
8. SASをインストールしようとしているコンピュータ上に十分なハードディスク容量を確保してください。
9. Internet Explorer (IE) 5.xもしくは6を再インストールし、壊れているか、もしくは、なくなったりしているコアWindowsファイルを修正します。
10. Ikernel.exeがメモリにないことを確認します。 もしIkernel.exeがあり、他のインストールのセットアップが実行されていなければ、Ikernel.exeタスクを終了し、PCを再起動します。
 - A. CtrlキーとAltキーとDelキーを同時に押します。
 - B. [タスクマネージャ] を選択します。
 - C. [プロセス] タブを選択します。
 - D. [イメージ名] の下の名前リストを調べます。
 - E. 「Ikernel.exe」を選択します。
 - F. [プロセスの終了] ボタンを選択します。
 - G. CtrlキーとAltキーとDelキーを同時に押します。
 - H. [タスクマネージャ] を選択します。
 - I. [終了] ボタンを選択します。
11. Windowsの一時ディレクトリにある全てのファイルを削除し、PCを再起動し、インストールを再試行します。

12. Program Files¥Common Files¥InstallShield¥Engineフォルダを削除します。
13. C:¥ProgramディレクトリとC:¥Program Filesディレクトリがないことを確認します。余分なC:¥Programディレクトリがあると問題を起こしかねません。SASやその他のアプリケーションは、C:¥Program Filesディレクトリに書き込むため、このディレクトリが必要です。
14. データ実行防止 (Data Execution Prevention: DEP) を確認し、必要であればsas.exeを追加します。DEPに関する詳細情報は、以下のMicrosoft Knowledge Baseの記事を参照してください。

<http://support.microsoft.com/kb/875352>

<http://support.microsoft.com/kb/903008>

除外されたプロセスのリストにsas.exeを追加することにより、DEPがSASプロセスで実行されたコード生成を妨げることを防止します。

Microsoft Windowsのリストにプロセスを追加するには、

- A. [マイコンピュータ] 上で右クリックし、[プロパティ] を選択します。
- B. [詳細] タブを選択します。
- C. [パフォーマンス] の下の [設定] を選択します。
- D. [データ実行防止] タブを選択します。
- E. [追加] をクリックします。
- F. sas.exeファイルを検索し、リストに追加します。

sas.exeファイルは、sasディレクトリのSoftware Disk 1 CDにあります。SAS Software Depot (SSD) がある場合は、disk101\sasディレクトリにあります。

SAS Note SN-016891に、この問題が記載されています。

はじめにインストールしたときと異なるユーザーIDを使用すると、「Error: Change User ID. SAS Service Pack Installer could not locate a SAS 9.1.3 installation.」と表示される

SAS Service Pack1をSAS 9.1.3がすでにインストールされている環境にインストールすると、次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。

Error: Change User ID

The SAS Service Pack Installer could not locate a SAS 9.1.3 installation. This may be due to using a user ID that is different than the one used to perform the original installation. If this is the case, you should exit the SAS Service Pack Installer and restart using the original user ID.

If you continue, the Service Pack installation and configuration may not complete successfully. Would you like to stop applying the service pack at this time?

"Yes" "No"

インストールを完了させるため、[NO] を選択してください。

また、Service Packのインストール中に次のようなダイアログボックスが表示されます。インストールで、はじめの2つのプロダクトがインストールされているかどうか確認されます。これは、通常の動作です。

- Mid-Tier and Desktop Client Service Pack
- SAS Foundation Service Pack
- SAS 構成ウィザード

同様の動作がSAS Service Pack 2を既存のSAS 9.1.3の環境にインストールするときにも見られます。SAS 9.1.3 Foundationのインストールには、Service Pack 2 for SAS Foundation CDのみが必要です。

SAS Note SN-014976に、この問題が記載されています。

SAS 9 および SAS 9 Service Pack をターミナルサーバーにインストールする場合の必要条件

- ターミナルサーバー上にSAS 9もしくは SAS 9 Service Packをインストールする際は、コンピュータがインストールモードになっている必要があります。コンピュータをインストールモードにするには、コマンドラインで「change user / install」コマンドを発行するか、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]を選択して、自動的にインストールモードに移行することができます。

注意：インストール CD を挿入する前に、コンピュータがインストールモードになっている必要があります。

- 既存のインストールに追加のプロダクトをインストールする際は、初めのインストール時に使用したユーザーアカウントを使用する必要があります。
- SAS Service Packをインストールする際は、初めのインストール時に使用したユーザーアカウントを使用する必要があります。

ヒント：インストールやそれに続くアドオンプロダクト、サービスパックのインストールで利用され再利用することができるアカウントを使用してください。

注意：インストール過程で再起動すると、デフォルトでは、再起動後はターミナルサーバーがインストールモードになりません。続けてインストールするには、再度コンピュータをインストールモードに設定する必要があります。

SAS Note SN-014710に、この問題が記載されています。

ネットワーク上の Enterprise Reporter のディレクトリへの書き込み権限がない場合、管理/クライアントインストールにおいて、進捗状況が 82%のところで停止する

管理/クライアントイメージからクライアントインストールを行っている時に、進捗状況が82%のところで停止する場合があります。

これは、クライアントインストールを行う際に、Enterprise Reporterが新しいsasv9.cfgを作成することによって引き起こされます。この sasv9.cfg は、ネットワーク上の!sasroot¥reporterディレクトリに作成されます。このsasv9.cfgは、ネットワーク上の

Enterprise Reporterのディレクトリに新しいsasv9.cfgを作成するEnterprise Reporterのショートカットの変更を行います。

管理/クライアントイメージからクライアントインストールを行う場合、インストールを行うマシン上で管理者権限が必要です。また、Enterprise Reporterディレクトリがある、管理/クライアントのネットワークイメージへの書き込み権限も必要です。

この問題に対しては、次の対処法があります。

- SAS 管理者が管理/クライアントイメージを作成するとき、イメージを置くためにプロダクトを選択するところで、SAS をクリックし Enterprise Reporter の選択を外します。Enterprise Reporter は、インストールの前に選択を外しておかないと、ライセンスを持っているかどうかに関わらずインストールされることに注意してください。
- インストールを行うユーザーに対して Enterprise Reporter ディレクトリへの書き込み権限を与えます。

SAS Note SN-012894に、この問題が記載されています。

SAS エクスプローラまたは Windows のエクスプローラで SAS データセットをダブルクリックすると、「Error: Could not open the specified registry key」と表示される

SASエクスプローラまたはWindowsのエクスプローラでSASデータセットをダブルクリックすると、次のメッセージが表示される場合があります。

```
ERROR: Could not open the specified registry key.
```

このメッセージが3回表示され、次にVIEWTABLEウィンドウにデータセットが表示されます。

そして、次のメッセージが表示されます。

```
Warning: Attempt to free a semaphores that is not locked.
```

この問題を解決するには、SASを再インストールする必要があります。

SASをアンインストールするには、SAS 9.1のみがインストールされているマシンでは、次の手順を行います。

1. マシンを再起動します。
2. 管理者 (Administrator) でログオンします。
3. ウィルススキャンソフトウェアを含むすべてのアプリケーションを終了します。SAS サービスが起動しているなら停止させます。
4. [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [アプリケーションの追加と削除] からSAS 9.1を削除します。
5. C:\Program Files\SASに移動し、このディレクトリを削除します。
注意：手順5は、SAS 9.1以外のバージョンがインストールされていない場合に実行します。
6. 再度マシンを再起動します。
7. 管理者 (Administrator) でログオンします。
8. ウィルススキャンソフトウェアを含むすべてのアプリケーションを終了します。SAS サービスが起動しているなら停止させます。

9. SAS 9.1を再インストールします。

複数のバージョンのSASがインストールされている場合、次の手順を行います。

- 1 マシンを再起動します。
- 2 管理者 (Administrator) でログオンします。
- 3 ウィルススキャンソフトウェアを含むすべてのアプリケーションを終了します。SAS サービスが起動しているなら停止させます。
- 4 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [アプリケーションの追加と削除] からSAS 9.1を削除します。
- 5 再度マシンを再起動します。
- 6 管理者 (Administrator) でログオンします。
- 7 ウィルススキャンソフトウェアを含むすべてのアプリケーションを終了します。SAS サービスが起動しているなら停止させます。
- 8 SAS 9.1を再インストールします。

SAS Note SN-012501に、この問題が記載されています。

表示しているダイアログが使用できなくなる

Windows XP環境におけるSAS 9.1のインストールにおいて、フォルダを選択する作業中に、表示しているダイアログが入力を受け付けなくなる現象が発生する可能性があります。この現象が発生したら、ダイアログを閉じ、数秒待ってから再開してください。ダイアログが表示されているときに他のアプリケーションがアクティブになると、この現象が発生します。

SAS Note SN-010906に、この問題が記載されています。

日本語入力モードを使用した SAS Java のインストールにおいて、アンダーバーが縦棒 (パイプ記号) で置き換えられる

日本語入力モードを使用したSAS Javaのインストールにおいて、アンダーバーがパイプ記号 (縦棒) で置き換えられる現象です。いずれかのJavaプロダクトのインストールにおいて、アンダーバー (_) をパスやパスワードなどに使用すると、縦棒 (|) に変換されます。この現象は、メモ帳のようなWindowsネイティブのアプリケーションでは発生しません。

対処法は、次のとおりです。SAS Javaのインストールにおいて、日本語入力モードにし、アンダーバーのキーを押します。この時点では、2バイトのアンダーバーが表示されています。そして、スペースバーを押して、半角のアンダーバーに変換します。

この問題は、将来のJavaインストールプログラムで修正されます。

SAS Note SN-010205に、この問題が記載されています。

Windows XP 環境で、CD を挿入すると Autorun ウィンドウが表示される

Windows XP環境でCDを挿入すると、Autorun (自動再生) ウィンドウとAutorunプロンプトが表示される場合があります。これは、SAS 9.1.3 Foundationのインストール中、CDを交換したときに起きる場合があります。Autorunプロンプトは、CDを挿入したら毎回表示されるわけではありません。

Autorunウィンドウが表示された場合（このウィンドウはエクスプローラウィンドウに似ています）、このウィンドウを閉じてインストール作業を継続してください。

Autorunプロンプトが表示された場合、以下のようになります。

この種類のファイルのディスクを挿入したり、デバイスに接続したりするたびに、Windowsが自動的に実行する動作を選択できます。

画像

Windowsが実行する動作を選んでください。

- コンピュータにあるフォルダに画像をコピーするMicrosoftスキャナとカメラ ウィザード使用
 - イメージのスライドショーを表示するWindowsピクチャとFAXビューア使用
 - 画像を印刷する写真の印刷ウィザード使用
 - フォルダを開いてファイルを表示
 - 何もしない
 - OK
 - キャンセル
-

[何もしない] と [OK] を選択して、インストールを継続します。

これらのダイアログが表示されないようにする手順は、以下のとおりです。

1. [マイ コンピュータ] アイコンを開きます。
2. 使用しているCD-ROMドライブを右クリックし、[プロパティ] を選択します。
3. [自動再生] で、[混在したコンテンツ] を選択します。
4. あとで元に戻すために、元の設定を書き留めておきます。
5. [実行する動作を選択] ボタンを選択します。
6. [何もしない] を選択します。

この方法がすべての場合にうまくいくとは限らないことに注意してください。

この問題は、Windows XPオペレーティングシステムに設定されているファイルタイプ別の動作によって引き起こされます。SASでは、Windows XPが自動的に実行するファイルタイプを制御することができません。

SAS Note SN-006260に、この問題が記載されています。

ミドル層（Mid Tier Media 使用）

プランインストールを実行する場合、インストール開始前に SAS ソフトウェアデポを作成する

SASでは、プランインストールの開始前に、SASソフトウェアデポ（SSD）を作成することを強く推奨しています。そうすることで、インストールの流れをより簡単なものとし、インストールにかかる時間も短くすることができます。

SSDを作成するには、以下を実行します。

1. [801 Deployment Tools Media] SectionにあるSAS Software Navigator CDを挿入します。

2. SAS Software Navigatorで使用する言語（例えばEnglishなど）を選択し、[OK]をクリックします。
3. [SASソフトウェアデポの作成]を選択し、[次へ]をクリックします。
4. SSDのターゲットロケーション（たとえば、F:¥SAS913SP4）を指定し、[次へ]をクリックします。
5. ソースロケーション（たとえば、D:¥）を指定してSSDにソフトウェアを追加し、[追加]をクリックします。
6. SASソフトウェアデポへのソフトウェアの追加が完了したら、[完了]をクリックします。

場合によっては、SSDからインストールしないと、混乱を招きインストールの失敗に通じる余分な画面が表示されることがあります。

また、CDやDVDからのインストールで失敗した例がいくつか報告されています。たとえば、Enterprise Guideは、実際は完了していないのにインストールが完了したことを示すチェックマークを製品名の隣に表示することがあります。

以下のプロダクトは、InstallShield11（インストール失敗の原因となっている）を使用するように変更されています。

- SAS Add-in for Microsoft Office 2.1
- SAS Enterprise Guide 4.1
- SES Office Integration 1.2
- Web OLAP Viewer for .NET 1.3

これは、SASの将来のリリースで修正されます。

SAS Note SN-017817に、この問題が記載されています。

はじめにインストールしたときと異なるユーザーIDを使用すると、「Error: Change User ID. SAS Service Pack Installer could not locate a SAS 9.1.3 installation.」と表示される

SAS Service Pack1をSAS 9.1.3がすでにインストールされている環境にインストールすると、次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。

```
Error: Change User ID
```

```
The SAS Service Pack Installer could not locate a SAS 9.1.3
installation. This may be due to using a user ID that is different
than the one used to perform the original installation. If this is
the case, you should exit the SAS Service Pack Installer and
restart using the original user ID.
```

```
If you continue, the Service Pack installation and configuration
may not complete successfully. Would you like to stop applying the
service pack at this time?
```

```
"Yes"    "No"
```

インストールを完了させるため、[NO]を選択してください。

また、Service Packのインストール中に次のようなダイアログボックスが表示されます。インストールで、はじめの2つのプロダクトがインストールされているかどうか確認されます。これは、通常の動作です。

- Mid-Tier and Desktop Client Service Pack
- SAS Foundation Service Pack
- SAS 構成ウィザード

同様の動作がSAS Service Pack 2を既存のSAS 9.1.3の環境にインストールするときにも見られます。SAS 9.1.3 Foundationのインストールには、Service Pack 2 for SAS Foundation CDのみ必要です。

SAS Note SN-014976に、この問題が記載されています。

SAS 9 および SAS 9 Service Pack をターミナルサーバーにインストールする場合の必要条件

1. ターミナルサーバー上にSAS 9もしくは SAS 9 Service Packをインストールする際は、コンピュータがインストールモードになっている必要があります。コンピュータをインストールモードにするには、コマンドラインで「change user / install」コマンドを発行するか、[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]を選択して、自動的にインストールモードに移行することができます。

注意：インストール CD を挿入する前に、コンピュータがインストールモードになっている必要があります。

2. 既存のインストールに追加のプロダクトをインストールする際は、初めのインストール時に使用したユーザーアカウントを使用する必要があります。
3. SAS Service Packをインストールする際は、初めのインストール時に使用したユーザーアカウントを使用する必要があります。

ヒント：インストールやそれに続くアドオンプロダクト、サービスパックのインストールで利用して再利用することができるアカウントを使用してください。

注意：インストール過程で再起動すると、デフォルトでは、再起動後はターミナルサーバーがインストールモードになりません。続けてインストールするには、再度コンピュータをインストールモードに設定する必要があります。

SAS Note SN-014710に、この問題が記載されています。

表示しているダイアログが使用できなくなる

Windows XP環境におけるSAS 9.1のインストールにおいて、フォルダを選択する作業中に、表示しているダイアログが入力を受け付けなくなる現象が発生する可能性があります。この現象が発生したら、ダイアログを閉じ、数秒待ってから再開してください。ダイアログが表示されているときに他のアプリケーションがアクティブになると、この現象が発生します。

SAS Note SN-010906に、この問題が記載されています。

日本語入力モードを使用した SAS Java のインストールにおいて、アンダーバーが縦棒（パイプ記号）で置き換えられる

日本語入力モードを使用した SAS Java のインストールにおいて、アンダーバーがパイプ記号（縦棒）で置き換えられる現象です。いずれかの Java プロダクトのインストールにおいて、アンダーバー（`_`）をパスやパスワードなどに使用すると、縦棒（`|`）に変換されます。この現象は、メモ帳のような Windows ネイティブのアプリケーションでは発生しません。

対処法は、次のとおりです。SAS Java のインストールにおいて、日本語入力モードにし、アンダーバーのキーを押します。この時点では、2 バイトのアンダーバーが表示されています。そして、スペースバーを押して、半角のアンダーバーに変換します。

この問題は、将来の Java インストールプログラムで修正されます。

SAS Note SN-010205 に、この問題が記載されています。

クライアント層（Client Media 使用）

プランインストールを実行する場合、インストール開始前に SAS ソフトウェアデポの作成を推奨する

SAS では、プランインストールの開始前に、SAS ソフトウェアデポ（SSD）を作成することを強く推奨しています。そうすることで、インストールの流れをより簡単なものとし、インストールにかかる時間も短くすることができます。

SSD を作成するには、以下を実行します。

1. [801 Deployment Tools Media] Section にある SAS Software Navigator CD を挿入します。
2. SAS Software Navigator で使用する言語（例えば English など）を選択し、[OK] をクリックします。
3. [SAS ソフトウェアデポの作成] を選択し、[次へ] をクリックします。
4. SSD のターゲットロケーション（例えば、F:¥SAS913SP4）を指定し、[次へ] をクリックします。
5. ソースロケーション（例えば、D:¥）を指定して SSD にソフトウェアを追加し、[追加] をクリックします。
6. SAS ソフトウェアデポへのソフトウェアの追加が完了したら、[完了] をクリックします。

場合によっては、SSD からインストールしないと、混乱を招きインストールの失敗に通じる余分な画面が表示されることがあります。

また、CD や DVD からのインストールで失敗した例がいくつか報告されています。たとえば、Enterprise Guide は、実際は完了していないのにインストールが完了したことを示すチェックマークを製品名の隣に表示することがあります。

以下のプロダクトは、InstallShield11（インストール失敗の原因となっている）を使用するように変更されています。

- SAS Add-in for Microsoft Office 2.1
- SAS Enterprise Guide 4.1
- SES Office Integration 1.2

- Web OLAP Viewer for .NET 1.3

これは、SASの将来のリリースで修正されます。

SAS Note SN-017817に、この問題が記載されています。

はじめにインストールしたときと異なるユーザーIDを使用すると、「Error: Change User ID. SAS Service Pack Installer could not locate a SAS 9.1.3 installation.」と表示される

SAS Service Pack1をSAS 9.1.3がすでにインストールされている環境にインストールすると、次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。

Error: Change User ID

The SAS Service Pack Installer could not locate a SAS 9.1.3 installation. This may be due to using a user ID that is different than the one used to perform the original installation. If this is the case, you should exit the SAS Service Pack Installer and restart using the original user ID.

If you continue, the Service Pack installation and configuration may not complete successfully. Would you like to stop applying the service pack at this time?

"Yes" "No"

インストールを完了させるため、[NO] を選択してください。

また、Service Packのインストール中に次のようなダイアログボックスが表示されます。インストールで、はじめの2つのプロダクトがインストールされているかどうか確認されます。これは、通常の動作です。

- Mid-Tier and Desktop Client Service Pack
- SAS Foundation Service Pack
- SAS 構成ウィザード

同様の動作がSAS Service Pack 2を既存のSAS 9.1.3の環境にインストールするときにも見られます。SAS 9.1.3 Foundationのインストールには、Service Pack 2 for SAS Foundation CDのみが必要です。

SAS Note SN-014976に、この問題が記載されています。

SAS 9 および SAS 9 Service Pack をターミナルサーバーにインストールする場合の必要条件

1. ターミナルサーバー上にSAS 9もしくは SAS 9 Service Packをインストールする際は、コンピュータがインストールモードになっている必要があります。コンピュータをインストールモードにするには、コマンドラインで「change user / install」コマンドを発行するか、[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]を選択して、自動的にインストールモードに移行することができます。

注意：インストール CD を挿入する前に、コンピュータがインストールモードになっている必

必要があります。

2. 既存のインストールに追加のプロダクトをインストールする際は、初めのインストール時に使用したユーザーアカウントを使用する必要があります。
3. SAS Service Packをインストールする際は、初めのインストール時に使用したユーザーアカウントを使用する必要があります。

ヒント：インストールやそれに続くアドオンプロダクト、サービスパックのインストールで利用して再利用することができるアカウントを使用してください。

注意：インストール過程で再起動すると、デフォルトでは、再起動後はターミナルサーバーがインストールモードになりません。続けてインストールするには、再度コンピュータをインストールモードに設定する必要があります。

SAS Note SN-014710に、この問題が記載されています。

表示しているダイアログが使用できなくなる

Windows XP環境におけるSAS 9.1のインストールにおいて、フォルダを選択する作業中に、表示しているダイアログが入力を受け付けなくなる現象が発生する可能性があります。この現象が発生したら、ダイアログを閉じ、数秒待ってから再開してください。ダイアログが表示されているときに他のアプリケーションがアクティブになると、この現象が発生します。

SAS Note SN-010906に、この問題が記載されています。

日本語入力モードを使用した SAS Java のインストールにおいて、アンダーバーが縦棒（パイプ記号）で置き換えられる

日本語入力モードを使用したSAS Javaのインストールにおいて、アンダーバーがパイプ記号（縦棒）で置き換えられる現象です。いずれかのJavaプロダクトのインストールにおいて、アンダーバー（_）をパスやパスワードなどに使用すると、縦棒（|）に変換されます。この現象は、メモ帳のようなWindowsネイティブのアプリケーションでは発生しません。

対処法は、次のとおりです。SAS Javaのインストールにおいて、日本語入力モードにし、アンダーバーのキーを押します。この時点では、2バイトのアンダーバーが表示されています。そして、スペースバーを押して、半角のアンダーバーに変換します。

この問題は、将来のJavaインストールプログラムで修正されます。

SAS Note SN-010205に、この問題が記載されています。

著作権情報

このドキュメントの正確な書籍情報は、以下のとおりです。

Alert Notes SAS® 9.1.3 for Microsoft® Windows®

Copyright® 2011, SAS Institute Inc., Cary, NC, USA.

本書は、発行元であるSAS Institute, Inc.の事前の書面による承諾なく、この出版物の全部あるいは一部を、電子データ、印刷、コピー、その他のいかなる形態または方法によって、複製、転送、または検索システムに保存することは禁止されています。これらの説明書は著作権により保護されています。

著作権保護を受ける本書の使用の範囲は制限されています。許される使用の範囲とは、使用者のシステムに保存して端末に表示すること、本書が提供された目的である、SAS プログラミングおよびライセンスプログラムのインストール・サポートの責任者が使用するために、必要な部数だけコピーすること、および特定のインストール要件を満たすように内容を修正することを指します。本書の全部あるいは一部を印刷する場合、またはディスプレイ媒体に表示する場合は、SAS Instituteの著作権表示を明記する必要があります。上記の条件以外で本書を複製または配布することは一切禁止されています。

アメリカ合衆国政府の制約された権限についての通知

アメリカ合衆国政府による、本ソフトウェアおよび関連するドキュメントの使用、複製、公開は、「FAR52.227-19 Commercial Computer Software-Restricted Rights」（1987年6月）に定められた制限の対象となります。

SAS Institute Inc., SAS Campus Drive, Cary, North Carolina 27513.

SAS®およびSAS Instituteのプロダクト名またはサービス名は、米国およびその他の国におけるSAS Institute Inc.の登録商標または商標です。

®は米国で登録されていることを示します。

その他、記載されている会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

英語版更新日 January 31 2011

使用上の注意点

Microsoft® Windows®版SAS® 9.1.3

2011年2月4日 第3版第16刷発行（913P23）

発行元 SAS Institute Japan株式会社

〒106-6111 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー11階

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SASテクニカルサポート

TEL: 03 (6434) 3680 FAX: 03 (6434) 3681